

桂枝（皮） - その化学 -

八木 晟

日本病院薬剤師会雑誌 24 (4) 52 - 53 (1988).

Cassia Bark - chemical study -

Akira YAGI

抄録 漢方薬配合で重要な漢薬の一つ、桂皮の有効成分に関する綜説である。桂皮は体表の血行を良くして体温を暖める効果がある。その有効成分はシンナミックアルデヒドであることは良く知られている。所で、桂皮の水エキスは抗アレルギー作用を示すことが見いだされた。そこで、この補体関与のアレルギーで①補体形成を抑制する物質、②実験的腎炎を作製した動物の蛋白尿の生成を抑制する物質を検索した。その結果、エピカテコール縮合型タンニンが単離・同定された。この研究過程で殺虫作用を示す新規ジテルペン（シンゼイラニン類）が単離・同定された。更に、桂皮が含有する多糖体の抗補体作用についても言及し漢薬・桂皮の多彩な有用性を解説した。